

会員だより

高槻市交通部

～市民の毎日に寄り添い70年～ 高槻市営バスは開業70周年を迎えました！

【高槻市営バスの歩みと現在】

高槻市営バスは、昭和29(1954)年2月25日に阪急バス株式会社から旧・日乃出バス株式会社の事業を譲り受け、車両数13台、路線数7路線という事業規模で発足しました。

本市は、昭和40年代に大阪・京都のベッドタウンとして、全国的にもまれに見る人口急増を経験し、昭和40年に13万1千人であった人口は、毎年約2万人ずつ増加して、昭和50年には、33万1千人になり、10年間に、20万人も増加しました。

市勢の発展とともに市営バスの需要も高まり、開業から20年の昭和49(1974)年には、現在とほぼ同じ規模の車両数や職員数にまで事業規模が拡大、昭和50(1975)年には乗合バス輸送人員数約3,014万人のピークを迎えました。

急激な路線拡張の影響やその後の自家用車・ミニバイクの急速な普及などによるバス離れに対応するために経営健全化に努力した昭和50年代、大学誘致などの都市づくりとの連携を図り輸送の確保を積極的に行った昭和60年代など、それぞれの時代に応じた取組を実施しながら走り続けてまいりました。

時代は平成を経て令和へと移ろい、市の人口急増期の中心となった団塊の世代も後期高齢者となりつつあります。旅客の構成も、通勤・通学旅客が減少傾向となるにつれて、日中の高齢者が増加するなどの兆候が表れています。

近年ではコロナ禍によるライフスタイルの変化やエネルギー価格の高騰、運転士不足や2024年問題への対応など、市営バス事業を取り巻く環境は全国的な傾向にたがわず厳しさを増していますが、皆様のおかげさまを持ちまして2月25日に開業70周年の節目を迎えることができました。

【市営バス開業70周年記念事業について】

ここからは、これまで市営バスを支えてくださったお客様や市民の皆様に感謝し、お客様や市民とともに70周年をお祝いするというコンセプトで実施している「高槻市営バス70周年記念事業」についてご紹介します。

(1) 記念トミカ(ミニカー)

開業65周年記念で発売しご好評を得たタカラトミーのミニカー「トミカ」を、車種を変更して製作・販売しました。昨年11月に開催した「開業70周年記念イベント」

(後述)会場で先行販売を行い、開業記念日の今年2月25日から市営バス案内所窓口、翌日の26日から通信販売(委託)を実施し、いずれも予定数を完売しました。

(2) 記念ラッピングバス「たかつき ばすお号」

高槻市営バスのマスコットキャラクター「たかつき ばすお」と高槻市のマスコットキャラクター「はにたん」がコラボレーションしたラッピングバスを製作しました。



お客様や市民、特に子どもたちに市営バスに対して親しみを持っていただけることを狙いにしており、外装ラッピングはもちろん、吊革や座席カバーなど車内も装飾しています。全営業所(芝生・緑が丘)に1台ずつ配置し、市内各路線で一般路線バスとして運行しています。



(3) 記念フロントマスク・ステッカー

市営バス開業70周年を視覚的に訴求するため、バス前面に掲出するフロントマスクを製作し路線バス全車両に設置して運行しています。また、同一デザインの車体

掲出用ステッカーを製作し乗車口付近に貼付するとともに、別途「たかつき ばすお」のイラストをあしらったステッカーを手作りで製作し、イベント等でお客様に配布しました。



(4) 記念切手

本市と日本郵便株式会社との包括連携協定を踏まえ、市営バスオリジナルバージョンのフレーム切手を企画し、高槻市内の郵便局窓口や郵便局のネットショップで販売しました。記念ラッピングバス同様「たかつき ばすお」「はにたん」を中心とした、親しみを持っていただけるデザインとしています。



(5) 記念誌

開業から約 10 年ごとに製作している記念誌の 70 周年版を企画し発行しました。今回は交通部職員自身での手作りで編集し、環境負荷軽減のため紙媒体としての発行は行わず、基本的には市営バスホームページでの公開 (PDF データ) としました。



(6) 記念イベント

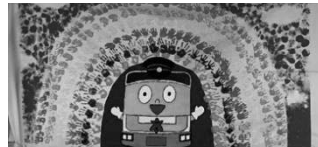
昨年(2023年)の元日に高槻市は市制施行 80 周年を迎えましたが、同年 11 月 11 日に市内の安満遺跡公園で開催した「市制施行 80 周年記念フェスタ」と連携し、「市営バス開業 70 周年記念イベント」を開催しました。

先述の「たかつき ばすお」を初お披露目すると同時に市制施行 80 周年記念で製作した「高槻将棋ライナー」「高槻やよいライナー」「たかつき観光大使アーティスト号」が勢ぞろい。記念トミカの先行販売やお子様向けのブースを展開するなど、大変にぎやかな催事になりました。



(7) 写真・絵画公募

開業 70 周年を記念し、市営バスをお客様の視点で自由に表現していただこうと、高槻市営バスを被写体とした写真と絵画を公募しました。年齢制限は設けず老若男女幅広いお客様からご応募をいただきました。ご応募いただいた作品は市営バスホームページ内の 70 周年特設サイトで公開すると同時に「たかつき ばすお号」の車内ポスター枠に掲出、「走るギャラリー」として華を添えています。



【高槻市営バスのこれから】

市がバス事業を運営する強みは、市が行う施策と一体化して事業を行えることです。発足当時の市長は「動く市道」という理念を掲げていましたが、これは 70 年を経た現在でも十分通ずる先進的なものだと考えます。

様々な課題に対応してきた歴史を顧みて、この先に続く未来を見据えながら、市民の暮らしに寄り添い、「まちとともに。未来へ走る」を合言葉として、より安全で快適な輸送サービスを追求してまいります。

〈問い合わせ〉

高槻市交通部総務企画課企画チーム

電話：072-677-3507